

産学連携とは

— 沖縄の高等教育機関を視察して考える —

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 1月21日と22日に沖縄へ行ってききましたので、今日はそのときのお話を詳しくさせていただきます。
3. 沖縄には何をするために行ったのかというと、東京の公益社団法人経済同友会の教育問題委員会のメンバーの一人として、大学・高等専門学校・新しくできた大学院を訪問するためです。三井住友銀行取締役会長の北山さんが委員長さんで、私を含めて11名のメンバーで行きました。
沖縄の2つの大学と1つの高等専門学校、そして最先端の大学院を見に行くことを目的として、特に、産業界と大学・大学院がどのように連携しているのかを勉強してきました。
4. 訪問した大学の1つは、琉球大学という国立大学法人の大学です。昔でいう国立大学で、栃木県の宇都宮大学と同じです。かつて沖縄はアメリカの占領下にありましたので、ミシガン大学の指導を受けて昭和25年に開学をしました。その後、本土に復帰し、昭和54年に教育学部・法文学部・理学部・工学部・農学部・医学部のある総合大学になりました。学生は10000名近く、先生方は860名もいる素晴らしい大学です。沖縄とアジアの架け橋になるような人財の育成に励んでいました。学生さんたちと議論をしましたが、非常に熱心な学生が多かったです。
5. 2つ目に訪問したのは沖縄国際大学で、建学の精神は「真の自由と、自治の確立」です。ここは、アメリカ軍のヘリコプターが墜落して大変なことになった大学として皆さんご存知ではないかと思います。学長さんや学生さんにお会いしましたが、沖縄の発展に貢献するには何ができるかということをよく考えながら一所懸命勉強していました。
6. 3つ目は、沖縄工業高等専門学校に行きました。ここは、栃木県の小山高専のような工業高等専門学校です。この学校も、IT系の人財育成に強みを持ち、学生さんたちはロボットの開発やものづくり、エンジニアなど各企業に入って研究の支援を行おうと熱意を高く持って一所懸命や

っている高等専門学校でした。学生さんの半分以上の方が高等専門学校が卒業後に大学3年生に編入したり、そのあとさらに大学院に進まれたりする方がたくさんいました。これは小山高専も同じだと思います。高等専門学校というのは中学校卒業後に5年間通いますので、卒業してから大学3年生に編入したり、大学卒業後に大学院に行ったりという進路をほとんどの方がとっていました。これも一つの進み方だと思います。大学入試がないので、その分非常に深い勉強ができます。また、高等専門学校で教える先生のほとんど、約95%以上の先生が博士課程の博士号を持っていますので、レベルの高い先生方から指導を受けられるという特色を持っています。

7. そして最後に訪問したのは非常に特色のある大学院で、去年の2012年10月にオープンしたばかりの沖縄科学技術大学院大学という大学院大学です。学生さんはまだ34名、先生は46名です。大学院ですから普通は修士課程と博士課程がありますが、この大学院は博士課程だけです。博士課程とは、2年間の修士課程のあとに、3年間勉強するのが博士課程です。しかし、この大学院は5年間一貫教育をして博士課程の勉強をする大学院です。研究員がたくさんいて、全部で270名もいらっしゃいます。沖縄の発展のため、日本の発展のため、世界の発展のために世界で最先端の研究をして、人財の開発をしようという非常に特色のある大学院です。

8. 私がこの4か所を訪問して気づいたことは、これらの学校は素晴らしい大学・大学院・高等専門学校であるにもかかわらず、沖縄の高校生があまりよく理解していないためか、偏差値の高い方の多くが本土の大学に進学してしまうことです。本当にもったいないなと思います。振り返って考えてみますと、栃木県・群馬県・茨城県・埼玉県・福島県にもたくさんの素晴らしい大学・大学院・専門学校があります。しかし、高校生のときに偏差値の高い方は、東京などにある学校に行ってしまう、地元には素晴らしい学校があるのになかなか直視しないということがあります。ですから、私も栃木県・群馬県・茨城県・埼玉県・福島県の大学・大学院をこれから研究させていただいて、そのよさを皆さんにお伝えすることも学習塾として大事ななと思いました。

9. また、高等学校の先生方も、偏差値一本の進路指導、大学や就職の指導ではなくて、地元の素晴らしい大学・短大・専門学校・高等専門学校のよさを見ていただいて、生徒の進路指導に役立てていただきたいと思います。地元にはよい高等専門学校・専門学校・大学・大学院がたくさんありますので、保護者の方やこの放送をお聴きの皆様にもそれらを見ていただいて、自分のお子様やお孫さんたちに一番合うところを御紹介いただければと思います。

10. 今日は、琉球大学・沖縄国際大学・沖縄工業高等専門学校・沖縄科学技術大学院大学の4つの学校を訪問させていただきましたので、そこで感じたことをお話させていただきました。

— 2013年6月12日加筆・訂正、林明夫 —